

小牛田中

留学生を迎え 多くの学び



米・ウイノナ市と交流

美里町とアメリカ・ミネソタ州ウイノナ市が姉妹都市という縁で、小牛田中では長年、ウイノナ市の中学生と交流を重ねてきました。今年4月には、ウイノナ市からの交換留学生を小牛田中に迎え、生徒会による歓迎会を行いました。

歓迎会では、交換留学生が自己紹介し、私たちは日本のアニメキャラクターや和柄のものなど日本を感じられるものをお土産として贈りました。生徒会役員と有志がソーラン節を披露し、大きな声を出して、真剣な

踊りを披露しました。会の終了後は、3年生の教室で1日を一緒に過ごしました。休み時間にサッカーをしたり、ウイノナや日本のことについて話したりするなど、とても楽しい時間を過ごすことができました。

普段あまり関わる機会のない海外の中学生と交流でき、学べることもたくさんありました。コロナ禍で長い間、留学生を受け入れることができませんでしたが、今年度から再開でき、私たち生徒にとっても良い経験になりました。

わが校わがまち スクール通信



今回は 錦織小（登米市） 岩沼西中（岩沼市）

声出し踊り「やりきった」

月見ヶ丘小



「みなと祭」でパレード

月見ヶ丘小学校は海のまち塩釜市にあります。地域との関わりが深く、歴史ある文化に触れて過ごしています。

7月15日の海の日には毎年、日本三大船祭りの一つ「塩釜みなと祭」が行われます。陸上パレードがあり、市内の小中学校の児童生徒を含めた子供から大人まで、たくさんの方が参加して、祭りを盛り上げます。

月見ヶ丘小からは5・6年の児童が全員参加します。私たち6年生は昨年初めて参加し、第77回を迎えた今年はリーダー

ーとして加わりました。今年も快晴で海の日にふさわしい天気でした。気温が高く、パレードの始まり地点に着くころには、みんな汗だくでした。沿道にいる地域の人々が目に入り、少し緊張しましたが、踊り進めるうちに、みんなが目を輝かせ応援していることに気付きました。

気合を入れ、大きな声を出して踊りました。踊り終えると「やりきった！」という達成感で、塩釜市民の一員になれたような誇らしい気持ちでいっぱいになりました。



今年の塩釜みなと祭のパレードで声を出して踊る児童たち

編集委員 伊藤莉梨、菊地咲月、千葉泉未、星山心美、渡辺豪、渡部船久（6年） 指導教員 金井実央

これがイチオシ 地元の海産物 サラダに

塩釜市は太平洋に面した場所にあるため、新鮮な海産物が豊富にとれます。月見ヶ丘小学校には、海産物を生かした献立「ふるさと給食」があり、中でも「塩釜サラダ」が大人気です。

エビやわかめ、いか、きゅうり、キャベツが使われています。海の幸たっぷりの塩釜らしい食材をしょうゆベースのドレッシングであえたのがポイントです。海藻の鮮やかな緑とドレッシングの良い香りが食欲をそそります。歯ごたえがよく、食感も楽しめる塩釜サラダがみんな大好きです。

学校名 塩釜市立月見ヶ丘小学校 所在地 宮城県塩釜市月見ヶ丘2の1 創立 1958年 電話 022(362)2441 校長 佐藤 秀克 児童 427人

これがイチオシ 有志組織 学校より良く

小牛田中学校には、五番隊という全学年による有志の組織があります。昨年度、印象に残ったのは参番隊の奉仕活動と四番隊による自主学習の取り組みです。参番隊は運動会開催前にグラウンドの草取りを行うなど清掃を意識し、学校の環境をより良くすることを目標に活動しました。四番隊は全校生徒が家庭学習に意欲的に励むことを目標に、全校で自主学習ノートコンテストを行い、最も優れた学習内容の生徒を表彰しました。今年度も有志隊の活動を計画しています。



ソーラン節を踊る生徒会役員と有志

学校名 美里町立小牛田中学校 所在地 宮城県美里町牛飼新西原310 創立 1964年 電話 0229(32)2402 校長 佐藤 勇寿 生徒 193人

編集委員 芦田真央、岩渕恵太、岩住寧々、鈴木颯天、檜野有良、山本絢介、我妻楓友（3年）大場美季、渋谷琉里矢、門間日葵莉（2年） 指導教員 宮下健一